

【エビソル飲食店予約推移・週次速報（5/11～5/17）】

緊急事態宣言解除の 39 県では、予約数が前年比▲70%と 前週に比べ 12 ポイント回復

～外食業界のガイドラインに関するアンケートでは、85%以上が席を最低 1メートル以上
離す対応を行っている一方で、席数が減少する分の補償を求める声も～

飲食店向け予約管理システム「ebica」を運営する株式会社エビソル（本社：東京都渋谷区、代表取締役：田中 宏彰、以下、エビソル）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に伴い大幅に自粛営業を余儀なくされている飲食店の厳しい状況を知っていただくことを目的に、飲食店の前年対比の予約状況（※1）を週次で公開しています（公開は一定期間）。本日は、39 県で緊急事態宣言が解除されてから初の週末を含む 5 月 11 日～17 日の最新データを新たに公開します。

さらに、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（改正）に基づく外食業の事業継続のためのガイドライン（※2）」が公表されたことを受け、全国の飲食店に対してアンケートを実施しましたのでその結果を公開します。

■予約推移及び政府・業界団体の指針に関する調査サマリ

- 予約件数の対前年増減率は、全国で▲85%（前週比+3 ポイント）、東京で▲93%（前週比±0%）、大阪で▲92%（前週比+1 ポイント）、緊急事態宣言解除の 39 県で▲70%（前週比+12 ポイント）と、緊急事態宣言解除が影響したと推測
- 全国の飲食店に対して行った外食業界のガイドラインに関するアンケートでは、85%以上が「席を 1メートル以上離す」ことを、50%以上が「座席を横並びで配置」することを対応するなど、店内レイアウトにおいて多くの飲食店が工夫を行っている結果に
- 一方で、「席同士を仕切るアクリル板の設置」は約 90%がすぐには対応できないと回答
- 感染防止策と営業を両立するために求めるサポートには「席数を減らすことによる補償の充実」などを求める声が多数

全国における1店舗あたりの平均予約件数の推移

出典：株式会社エビソル

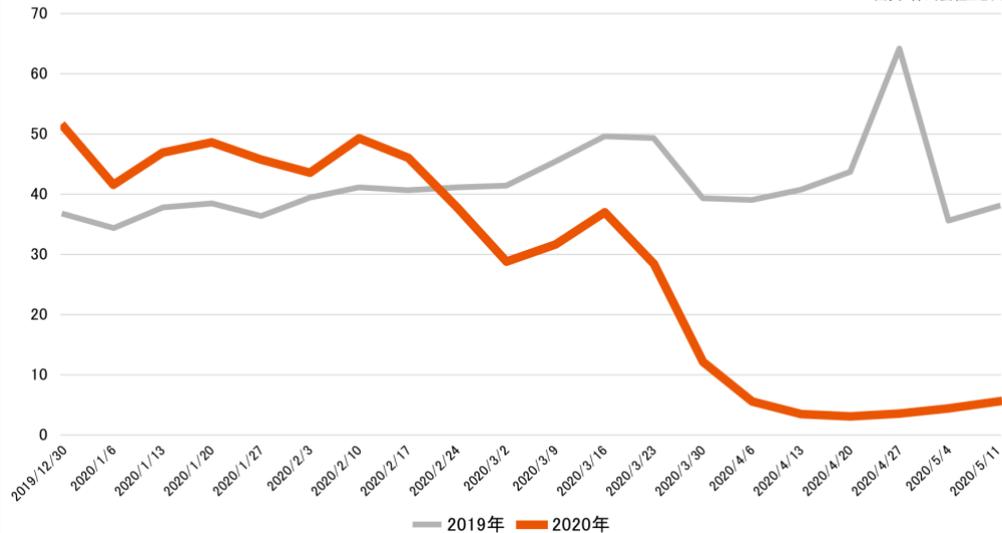


表 1：全国における1店舗あたりの平均予約件数の推移

■エビソル飲食店予約推移・全国：対前年増減比▲85%（前週比+3ポイント）

5月14日（木）付で、全47都道府県のうち8の特定警戒都道府県（東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、京都、兵庫、北海道）を除く39県で緊急事態宣言が解除されました。

緊急事態宣言解除後初の週末を迎えた今回は、全国では前週（5/3～5/10）に引き続き回復の兆しを見せており、対前週増減率+3%の回復となりました。しかし、対前年増減率では▲85%と、新型コロナウイルス感染拡大以前と全く異なる環境は変わっておらず、依然として非常に厳しい状況であることが見受けられます。

■エビソル飲食店予約推移・大阪：対前年増減比▲92%（前週比+1ポイント）

政府の指針では引き続き緊急事態宣言の対象となっている大阪府ですが、府独自のマニュアル「大阪モデル」で解除の目安としていた基準を7日連続で満たしたことを受け、16日（土）午前0時より、居酒屋を含む飲食店の営業時間を午後10時まで、酒類の提供を午後9時までと段階的に解除しました。

しかし、飲食店の予約数は対前週増減率+1%と現時点では大きな動きはなく、今週以降の動きを注視する必要があります。

■エビソル飲食店予約推移・8特定警戒都道府県以外の39県：対前年増減比▲70%（前週比+12ポイント）

8の特定警戒都道府県を除く39県においては、緊急事態宣言解除の影響を受け予約数が微増し、対前週増減率では+12%と最も回復の動きが見られました。しかし、対前年増減率は▲70%と業界水準を見ても通常運転には程遠く、経済の正常化にはまだ多くの時間を要することが伺えます。

■政府及び業界団体の指針に関する全国のアンケート調査結果（速報値）

段階的な経済活動の再開に向けて、外食産業の業界団体から事業継続のためのガイドラインが5月14日に公表されました。「席同士を仕切るアクリル板の設置」、「席は1メートル以上離す」、「行列防止への整理券の発行」な

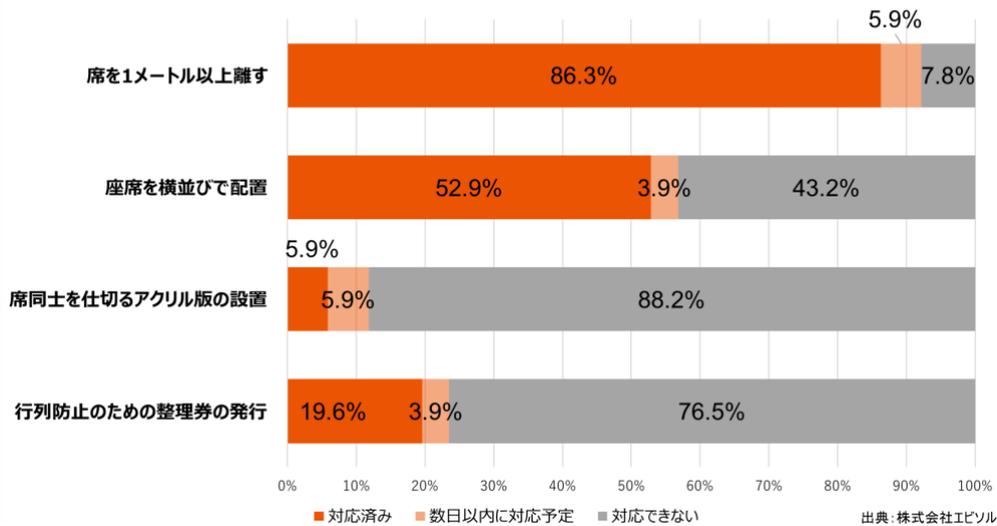
どの主な内容を中心に、エビソルでは、予約管理システム「ebica」および「グルメサイトコントローラー」で全ての予約を一元管理している全国の飲食店を対象に独自アンケートを実施しました。（有効回答数=51）

・ガイドラインへは概ね対応の傾向を示すものの、「席同士を仕切るアクリル版の設置」では約90%の飲食店が対応できないと回答するなど時間を要する内容も

全国の飲食店に対して、外食産業の業界団体が発表した本格的に営業を再開する際のガイドラインについて対応可否を聞くと、「席を1メートル以上離す」では85%以上（86.3%）が対応済み、「座席を横並びで配置」では50%以上（52.9%）が対応済みと回答するなど、概ね対応に向けた姿勢を示す結果となりました。

一方で、「席同士を仕切るアクリル版の設置」では約90%（88.2%）が対応できない、「行列防止のための整理券の発行」では75%以上（76.5%）が対応できないと回答するなど、アクリル板の用意や人件費を要する内容のガイドラインについては、対応に時間がかかってしまっていることが見受けられます。

日本フードサービス協会と全国生活衛生同業組合中央会が協力して作成した
ガイドラインに対する対応状況を教えてください。

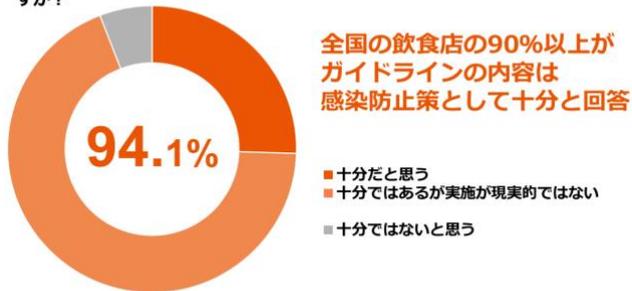


・90%以上はガイドラインが感染防止策として十分だと考えている一方で、そのうち70%以上はすぐに実施することは困難であると回答。感染防止策と営業の両立には「席数を減らすことによる補償の充実」を求める声も

全国の飲食店に対して、ガイドラインの内容は店内のクラスター感染防止策として十分だと思うか聞くと、全体の90%以上（94.1%）が十分だと思うと回答した一方で、そのうちの70%以上（72.9%）となる35店舗は「十分ではあるが実施が現実的ではない」と回答。

さらに、全国の飲食店に対して感染防止策と営業を両立するにあたりどのようなサポートが必要か聞くと、「座席数を減らしたことによる補償」、「席を5割程度減らしての営業となる為、税金や家賃固定費などの補償が必要」など、感染防止策の対応によって制限される営業活動への補償を求める声が見られました。今後さらなる地域での緊急事態宣言解除や、段階的な経済活動の再開が進むと予想される一方で、外食産業の回復には多くの課題が伺えます。

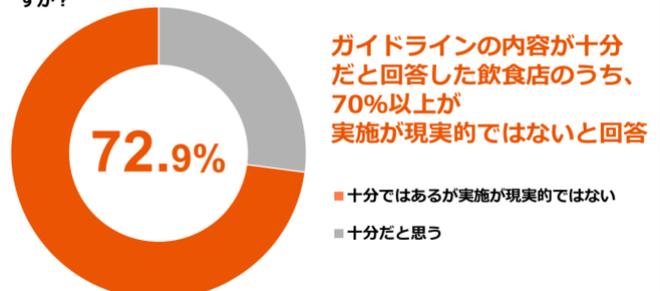
Q.ガイドラインの内容は店内のクラスター感染防止策として十分だと思いますか？



【単一回答、全国の飲食店、n=51】

出典：株式会社エビソル

Q.ガイドラインの内容は店内のクラスター感染防止策として十分だと思いますか？



【単一回答、ガイドラインの内容が十分だと回答した全国の飲食店、n=48】

各地域における1店舗あたりの平均予約件数の推移

出典：株式会社エビソル

※予約管理システム「ebica」および「グルメサイトコントローラー」で全ての予約を一元管理している全国約4,000店舗を対象に1店舗あたり、1週間における平均予約数を算出。

開始日	全国			8の特定警戒都道府県			東京			大阪			その他39県		
	2019	2020	前年比	2019	2020	前年比	2019	2020	前年比	2019	2020	前年比	2019	2020	前年比
2019/12/30	36.7	51.1	139%	34.3	47.3	138%	25.6	35.0	136%	48.5	60.5	125%	62.8	74.8	119%
2020/1/6	34.4	41.6	121%	34.3	41.9	122%	33.2	40.8	123%	46.2	49.2	106%	40.4	41.9	104%
2020/1/13	37.8	46.9	124%	37.9	47.4	125%	36.8	46.2	125%	52.3	56.9	109%	42.6	45.7	107%
2020/1/20	38.5	48.6	126%	38.8	49.2	127%	38.3	48.7	127%	51.6	58.0	112%	41.4	46.3	112%
2020/1/27	36.4	45.8	126%	36.6	46.5	127%	36.1	46.1	128%	47.6	54.1	114%	39.4	43.4	110%
2020/2/3	39.4	43.6	111%	39.3	44.2	113%	37.9	43.8	116%	50.9	50.7	100%	45.3	41.8	92%
2020/2/10	41.1	49.3	120%	41.0	49.8	121%	39.4	48.0	122%	50.9	57.5	113%	47.2	48.7	103%
2020/2/17	40.7	46.1	113%	40.5	46.1	114%	39.0	43.9	113%	50.7	53.6	106%	47.3	47.8	101%
2020/2/24	41.1	37.8	92%	41.1	37.4	91%	40.4	34.8	86%	50.6	44.3	88%	46.6	41.1	88%
2020/3/2	41.4	28.8	70%	41.5	28.6	69%	41.2	27.7	67%	50.6	32.5	64%	45.0	30.6	68%
2020/3/9	45.4	31.7	70%	45.6	31.4	69%	44.8	31.5	70%	55.3	32.2	58%	49.3	34.5	70%
2020/3/16	49.6	37.0	75%	49.4	36.0	73%	47.6	34.5	73%	58.5	37.7	64%	57.1	43.7	77%
2020/3/23	49.3	28.4	58%	49.5	27.1	55%	48.6	23.7	49%	58.8	31.0	53%	54.4	36.2	67%
2020/3/30	39.3	12.1	31%	39.5	11.1	28%	39.2	8.0	20%	49.1	13.5	28%	42.8	17.8	42%
2020/4/6	39.0	5.5	14%	39.3	5.1	13%	40.4	3.7	9%	49.6	3.8	8%	39.1	8.2	21%
2020/4/13	40.8	3.4	8%	41.3	3.3	8%	42.9	2.5	6%	51.7	2.0	4%	39.7	4.4	11%
2020/4/20	43.7	3.1	7%	44.0	3.1	7%	45.0	2.5	5%	53.0	1.8	3%	44.2	2.7	6%
2020/4/27	64.2	3.5	5%	61.4	3.4	6%	51.9	2.3	5%	79.6	2.3	3%	86.8	3.9	4%
2020/5/4	35.6	4.4	12%	36.0	4.2	12%	35.9	2.6	7%	43.9	3.2	7%	33.8	6.1	18%
2020/5/11	38.0	5.5	15%	38.9	4.8	12%	40.7	3.0	7%	47.7	3.6	8%	33.3	9.9	30%

表2：各地域における1店舗あたりの平均予約件数の推移

エビソルでは、「体験」をアップデートして 社会に貢献する」というミッションのもと、1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、苦境に立たされる全国の飲食店の現実を多くの方に知っていただきたいとの思いから今後、週次で飲食店予約推移を調査し、以下公式HPにて公開して参ります。

<https://www.ebisol.co.jp/news>

【調査概要・結果をご覧ください際の注意事項】

調査期間：2019年12月30日～2020年5月17日

調査対象：「ebica」および「グルメサイトコントローラー」をご利用の全国約 4,000 店舗

実施機関：株式会社エビソル

※1：予約管理システム「ebica」および「グルメサイトコントローラー」で全ての予約を一元管理している全国約 4,000 店舗の前年対比の予約状況

※2：新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（改正）に基づく外食業の事業継続のためのガイドライン（一般社団法人 日本フードサービス協会、一般社団法人 全国生活衛生同業組合中央会）

※契約店舗 1 店舗あたり、1 週間における平均予約数を算出。

※ISO WEEK カレンダーの定義に沿って、前年同週対比となります。

※本報道発表資料に記載されている会社名および製品・サービス名は、登録商標または商標です。

※本報道発表資料に記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。

ebica（エビカ）予約台帳

「ebica（エビカ）予約台帳」は、飲食店向けに開発されたクラウド型の予約/顧客台帳システムです。各飲食店の予約管理ニーズに応じた設定ができ、グルメサイト経由予約の一元管理機能やオウンドメディア向け予約フォームのご提供等、Web 予約を主軸とした様々な集客ソリューションをご提供しています。特に最近では中国最大級の生活情報メディア「大衆点评」等との連携により、訪日中国人をはじめとしたインバウンド集客にもご好評をいただいております。

株式会社エビソル 会社概要

所在地： 東京都渋谷区恵比寿 4-5-27 パティオクアトロ 3F

代表者： 代表取締役 田中 宏彰

設立日： 2011 年 10 月 20 日

資本金： 59,746,500 円（資本準備金含む 302619,500 円）

事業内容： 飲食 OMO 事業、インバウンド事業、グローバル事業

本件に関するお問い合わせ先

エビソル PR 事務局（スキュー内）担当：西尾・玉越

電話：03-6277-0429

FAX：03-5539-4255

E-mail：ebisol@skewic.co.jp

株式会社エビソル 広報担当

電話：03-4405-4041

FAX：050-3156-3971

E-mail：info@ebisol.co.jp

※記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。